

会議名	洲本市国民健康保険運営協議会			
開催日時	平成28年2月4日(木) 13:30~15:10			
開催場所	第三委員会室			
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 平成26年度洲本市国民健康保険特別会計(事業勘定・直診勘定)決算について 5 審議事項 平成28年度洲本市国民健康保険特別会計(事業勘定・直診勘定)予算(案)について 6 その他 7 閉会			
委員	氏名	出欠	氏名	出欠
	武田政和	欠	中田哲雄	出
	野口純子	出	楠悦治	出
	倉内一夫	出	狩野揮史	出
	津本定也	出	山本道雄	出
	高津匡雄	出		
出席者	竹内市長			
事務局	赤松健康福祉部長 竹鼻税務課長 平山滞納対策課長 大橋サービス事業所長 毛笠保険課長 田中サービス事業所所長補佐 濱端保険課国民健康保険係長 中來田保険課主任			
会議資料	(1) 平成26年度洲本市国民健康保険特別会計(事業勘定・直診勘定)決算について (2) 平成28年度洲本市国民健康保険特別会計(事業勘定・直診勘定)予算(案)について (3) その他資料			

会 議 内 容

	(13:30分開始)
	会長あいさつ
	市長あいさつ
	市長より諮問書を読み上げ交付 (市長、公務出席のためここで退席)
事務局	人事異動により、事務局の一部職員の変更がありましたので、事務局の職員のみ紹介
	委員の出欠状況について報告
会長	会議録署名委員について指名。会議録署名委員に、倉内委員、狩野委員
事務局	公開状況について報告
	(報告事項) 資料に基づき、「平成26年度洲本市国民健康保険特別会計(事業勘定・直診勘定)」決算状況について説明。
	(質疑応答)
委員	診療所の患者さんが減ってると思うのですが年々減ですか。診療所に来られてる患者さんが高齢化しているのですか。
事務局	そうです。慢性疾患患者がほとんどです。
委員	会計の方ですが一般的な認識で保険料半分、税金半分というかたちで国は説明していると思うのですが、ここでは1/5が保険料4/5が別のものっていうのが一般的なのでしょうか。
事務局	おっしゃる通りそういった説明があるんですが、実際は保険税で賄う5割というのは、保険税と主なものとして前期高齢者交付金や一般会計からの繰入金など含めて5割となっております。どこの市町村も基本的にはこういう形で税収入だけで5割となっているところはなく、前期高齢者交付金と税等で5割になるように予算化している市町がおそらく全国どこでもそのような形になっているかと思います。
委員	そんなものということですね。

事務局	<p>そうですね、例えば前期高齢者交付金・拠出金を例にとると、国民健康保険は他の社会保険と比べて65歳から74歳までの前期高齢者の割合が高いので、洲本市と同じように前期高齢者納付金として何十万か支払い、数億円の交付を受けている、少しの支出とたくさんの収入という市町村がほとんどという形になっています。</p>
委員	<p>診療所の件ですが、人口も減ってきているし、高齢化率が高くなると患者さんの率としては多くなるんだけど全体としてはもう増えないと思います。高齢化率も高くなってきているんですけども最近は施設に入る方も結構たくさん、特別老人ホームも結構たくさんできていますよね。ということは今まで診ていた患者さんが施設に入って、外来の患者さんとしてはそんなに増えないと印象を私はもっています。また、今のままで経営が改善するとは考えにくいと考えていますが市としてはどのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>まだそこまでの具体的な分析はしていませんが、収入に応じた形で支出を組んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>診療内容からすると、点数的にはこんなものだと思います。人単価がすごく高いとか安いとかの印象は受けない、普通に診療をされていることなんで、特別何かすごく診療内容を変えて点数を上げていくというのはよくないと思うんだけど、そういうことで収益を上げていくことも多分難しいと思うんで、支出の部分のなんとかしないとこのままでは多分入ってくるのは明るい見通しはまずないと思いますので、あり方をもっと考えた方がいいと思います。意見として申し上げておきます。</p>
委員	<p>あんまり深くいうことではないと思いますが、お気づきの点が鮎原診療所の方がやや少ない、ちょっと入院させてといっても入院できませんということになっているのか。</p>
事務局	<p>先ほどご説明させていただいたとおり、鮎原診療所の方は入院の事業については休止させていただいております。どうしても入院をもつということは職員数を相当おかないといけないことになってしまいます。</p>
委員	<p>ちまたの声でよくお聞きするので、医療の関係では深く知りませんが一般の声の方がそう言っているのでもう少しもんかなというところですか。</p>
委員	<p>先ほどの説明の中で収納率が現年度分あるいは過年度分ともにあがるとという説明でした。資料を見せてもらうと過年度分では約20%弱、過年度分の収納率にしては比較的高い方かと思うんですけど、滞納分の時効の中断処置というのはとられているのですか。</p>

事務局	時効の中断につきましては法令の規定により生活の状況をみて判断しております。
委員	生活状況を見てということであれば、そういう方たちについて時効での欠損処理していくことになるということですね。
事務局	生活状況をみて執行停止を行うなどの判断をさせていただいております。
委員	まあ、やむを得ないことだとは思いますが。
	(質疑を終結)
委員	(異議なしとして報告事項を了承)
事務局	(諮問事項) 資料に基づき、「平成28年度国民健康保険特別会計(事業勘定・直診勘定)予算」について説明。
	(質疑応答) 意見、質問なし。
	(質疑を終結)
委員	(異議なしとして審議事項を承認)
	(答申書原案の作成のため10分間の休憩)
	(協議会を再開)
事務局	答申書原案朗読
委員	(異議なしとして本日付をもって答申書を市長に提出することに了承)
事務局	(その他) 配布資料により、国民健康保険関係の制度改正及び国民健康保険広域化について説明。
	(質疑応答) 意見、質問なし。

(質疑を終結)

(15時10分終了)